奥多摩・水根沢

2009 年 6 月 27 日(土)　晴れ

メンバー：Ｌ．奥平、釣、神戸（記）

3 回目の水根沢。山を始めて 1 年経たない頃と去年の夏に来た。2 回とも、あまり天気が良くなく、巻きやへつりが多かったので、今回のような天気のいい日に来られると積極的に水に入れて楽しい！金曜の夜のうちに水根のバス停の駐車場について、翌朝、起きると同じく水根沢に入ると思われる人達が集まってきた。沢では珍しい 20 代の若いグループもいた。駐車場からキャンプ場へ 10 分弱歩くと入渓地点。工事をしている脇を通らせてもらう。気温も高く水に浸かっても寒くない。

しばらく進むと小さなゴルジュとなり、4mの滝が落下する。左壁のスリングを使ってへつり、倒木につかまって釜から這い上がろうとするけれど、なかなか上がれず、ひっぱりあげてもらう。釜はたくさんあるけれど、最近は埋まってしまっていて、深くても腰くらいまでの水位になっている。次の 5mの滝は右壁を斜上する。トヨ状 5mの滝は突っ張りで行けるけれど一応ロープを出してもらう。小滝を越えてしばらく進んで行くと再びゴルジュとなり、2 段 15mは下段は右壁を登り、上段は水流に戻って越えられる。沢はせまい河原のようになり、左から枝沢が 2 本入るわさび田の所で休憩。男女 2 人組と単独の男性が追い越して行った。釜をもつ滝をいくつか越えると半円の滝。私は左壁を登ったけれど、釣さんは右壁の難しそうな所を簡単に登ってきて上手だなと感心する。ここまでで引き返す人が多いけれど、時間も早いので、もう少し進む事にする。まだ釜をもった滝が続き、しばらくすると少し大きな釜をもった小滝が出てきて、深そうなので、釣さんが右壁沿いに首まで水に浸かって滝まで近づくけれど、釜から這い上がるのが難しい滝だった。しばらくがんばったけれど、あきらめて小さく高巻く事にした。

まだまだ林道が交差する所まで楽しめそうだったけれど、翌日も沢なので早めに下山する事にした。左岸の杉林を 10 分く

らい登っていくと、林道にぶつかり 40 分程でキャンプ場まで戻ってきた。キャンプ場の手前には赤紫の釣り鐘のような形の花の毒草、ジギタリスが見頃で群生していて見事だった。毒草なので動物に食べられずに群生しているというような事が立て看板に書かれていた。駐車場に戻ると沢沿いの涼しさはなく、初夏の強い日差しが照りつけていた。移動図書館のマイクロバスが停まっていて、東京にもあるんだと興味深かった。その後は、買い物をして「のめこいの湯」の道の駅に移動して、広沢寺で岩トレをしてきた斉藤さん、池田さんと合流。19 時には売店の人もいなくなり、テントを張って宴会もできた。翌日、沢に行くというグループが他にも 1 組泊まっていたけれど、車の台数は少なかった。

コースタイム：水根バス停駐車場 9:05→10:50 フジマキ沢→12:00 半円の滝→12:45 深い釜の小滝→13:10 林道→14:00 駐車場

地形図：奥多摩湖